

都道府県名: 神奈川県

団体名: 酒匂川水系保全協議会

地域

酒匂川水系保全協議会がご活躍されている酒匂川は、富士山東麓の静岡県御殿場と神奈川県北西部の丹沢山地を主な源流とし、足柄平野を貫流して相模湾に注ぎ込んでいます。そして、その水は流域住民だけでなく横浜市、川崎市、横須賀市などの上水道の水源として利用されるほか、農業用水、工業用水に利用されるなど、人々の生活に無くてはならない「母なる川」それが酒匂川です。また、酒匂川水系に生息する多くの生き物たちにも豊かな恩恵をもたらしています。

経緯

酒匂川水系保全協議会は、昭和35年に流域の農業・漁業関係者を中心とした、民間の発意で発足し、酒匂川水系の水資源の保全のため、河川・水路などの水質調査をはじめ、酒匂川水系を題材としたフォトコンテスト、講演会等、様々な水質保全・環境保全啓発活動を行い、現在、会員は地方公共団体、農業、漁業、工業関係者の96会員となっています。

功績内容

・平成22年度には設立50周年を迎え、記念シンポジウムや神奈川県内及び静岡県内でパネル展示会、間伐体験などのフィールドワーク事業等を実施しました。これらの事業には流域住民のほか横浜市や川崎市の住民の参加も得られ、酒匂川水系の魅力を多くの方々に発信することができました。このように活発な水質・環境保全啓発活動を継続的に実施することにより、良好な河川環境を次世代に引き継ぐことに貢献しています。



酒匂川



50周年記念シンポジウム



環境保全講演会



自然教室